



おかやま民俗芸能  
フェスティバル2018  
秋



問合せ先

岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局  
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県教育庁文化財課内

TEL:086-226-7601 FAX:086-224-5591  
E-mail:bunka@pref.okayama.lg.jp



おかやま民俗芸能  
フェスティバル2018  
秋

—平成30年度 岡山県民俗芸能大会—

入場無料

平成30年  
10月21日(日)

13:00～ 開場 12:30

まなび広場にいきみ (新見市新見123-2)

演目等

- ◆波知の獅子舞(玉野市)
- ◆大島の傘踊(笠岡市)
- ◆太鼓田植(新見市)
- ◆早川踊(真庭市)
- ◆八幡神社・境神社の獅子舞(美咲町)

◆頭打ち(新見市)

アトラクション

- ◆昔話の語り(新見市)

解説:くらしき作陽大学 田中英機

[主 催] 岡山県民俗芸能大会実行委員会  
[共 催] 岡山県教育委員会、新見市教育委員会、岡山県文化財保護協会  
[後 援] 玉野市教育委員会、笠岡市教育委員会、真庭市教育委員会、美咲町教育委員会、(公社)岡山県文化連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、beyond2020 プログラム、山陽新聞社、NHK 岡山放送局、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送、TSC テレビせとうち  
[助 成] (公財)福武教育文化振興財団、(公財)エネルギー文化・スポーツ財団、(一財)岡山県教育職員互助組合  
平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)

問合せ先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局  
TEL:086-226-7601 FAX:086-224-5591 E-mail:bunka@pref.okayama.lg.jp

がんばろう 岡山! — 復興へ 心つなげて —



# おかやま民俗芸能 フェスティバル2018 秋

## プログラム

### 演目・出演団体紹介

#### はち しし まい 波知の獅子舞

はち しし まい ほぞん かい  
波知獅子舞保存会／玉野市

玉野市八浜町の波知集落には、250年余りの歴史を持つ古式ゆかしい獅子舞の伝統文化が現在も受け継がれています。かつては雄雌二頭の獅子が笛の音に合わせてたわむれる舞であったものが、現在では、雌獅子のかわりにぼたんの花をもつようになり、伊勢大神楽の影響のもと、子孫繁栄、五穀豊穡を願って、八幡宮の祭礼に奉納されてきました。昭和57年、玉野市の重要無形民俗文化財に指定されています。



#### はや かわ おどり 早川踊

はや かわ おどり ほぞん かい  
早川踊保存会／真庭市

真庭市久世に伝わる「早川踊」は、昭和58年に久世町、平成17年には真庭市の重要無形民俗文化財に指定された盆踊りです。天明7年(1787)、久世の陣屋代官として赴任した早川八郎左衛門正紀が、京都の都踊りを見て久世に持ち帰り、庶民の健全な娯楽のひとつにしようとしたのが始まりと伝えられています。また「早川踊」は、調子が小唄調でゆったりしているので、その後、久世の春夏秋冬を歌う郷土色豊かな「早川ばやし」も生まれました。本日は、「早川踊」と「早川ばやし」を披露します。



#### はち まん じん じゃ さかい じん じゃ しし まい 八幡神社・境神社の獅子舞

はち まん じん じゃ さかい じん じゃ しし まい ほぞん かい  
八幡神社・境神社の獅子舞保存会／美咲町

美咲町境の境神社の獅子舞と大井和西の八幡神社の獅子舞は、雄雌一対のものであったといわれ、岡山県の重要無形民俗文化財に指定されています。境神社の獅子舞は、「御拝」「さんぱ」「しゃきり」「道中」「遊び」「勇み」の6種から成り、舞の形態は、女性的で洗練された優雅なものです。八幡神社の獅子舞は、「さんぱ」「道中」「遊び」「勇み」「のっと」の5種から成り、舞の形態は、男性的で勇壮闊達なものです。



#### おお しま かせ おどり 大島の傘踊

おお しま かせ おどり ほぞん かい  
大島の傘踊り保存会／笠岡市

笠岡市の大島地区に伝わる盆踊りで、昭和51年に岡山県の重要無形民俗文化財に指定されています。貞享3年(1686)、かつての領主、細川通董公の百回忌墓前祭が行われたときに夕立があり、刀の代わりに雨傘を使って踊ったのが、この踊りの始まりと言われています。「大島音頭」に合わせて、「出踊り」「忍び」「斬り合い」の3種類の型を踊ります。傘を刀に見立てて斬り合うように踊るのが特徴です。毎年8月14日の夜に、大島地区の「ふれあい納涼の夕べ」の中で踊られています。



#### むかし ばなし かせ 昔話の語り

アトラクション

むかし ばなし さと  
昔ばなしの里こっぶり／新見市

民話、昔話は私たちの祖先が伝えてくれた大切な文化であり、私達に生きる力を与えてくれるものです。近年、急速に伝承者が消え去るなか、語りを継承するため「立石おじさんの語りの学校」が各地で開催されてきました。岡山県語りのネットワークは修了生を中心に平成20年に結成、現在36団体260名(平成30年6月末時点)、年間約7万人の方に語りを聞いてもらっています。語りは言葉と簡単な所作ですが、聞くと頭の中にそれぞれの情景を思い描くことができます。



#### たい こ た うえ 太鼓田植

こうじろ きょうど みんよう ほぞん かい  
神代郷土民謡保存会／新見市

備中北部で伝承されている田植え行事で、岡山県の重要無形民俗文化財に指定されており、「はやし田植え」とも呼ばれています。「さげ」と呼ばれる男性の、右手を高く突き上げて打つ独特のばちさばきから打ち鳴らされる太鼓に合わせて、田植歌が歌われ、「植え子」と呼ばれる花笠姿の早乙女が踊り、横一列で苗を植えながらそろって足を運びます。太鼓や歌で田の神をたたえるとともに、五穀豊穡を願う共同作業の慣習として伝承されています。



#### かしら う 頭打ち

なか やま はち まん じん じゃ がくう ほぞん かい  
中山八幡神社楽打ち保存会／新見市

新見市哲多町矢戸の中山八幡神社に伝承される新見市の重要無形民俗文化財に指定されています。秋祭りに御神幸の供奉楽として、実りの秋に感謝を込めて奉納される伝統的な郷土芸能です。秋祭りを彩る中心行事で、社の境内で4人の「トビコ」という踊り子が1組になって、鐘の音にあわせて太鼓を打ち鳴らしながら、飛ぶように踊ります。地域によっては、「渡り拍子」「楽打ち」とも呼ばれている伝統的な踊りです。

